



仙台-光州

姉妹都市交流

10年の歩み





【光州広域市概要】

大韓民国南西部の政治・経済・文化・教育の中心地。「光の都」「味の都」「芸術の都」「義の都」と呼ばれており、「世界キムチ文化祭り」や国際規模の芸術展「光州ビエンナーレ」が有名です。光産業をはじめとする先端技術産業やデザイン産業、文化コンテンツ産業等、高付加価値型の知識基盤産業の育成・誘致に力を注いでいます。2015年ユニバーシアード夏季大会の開催地でもあります。





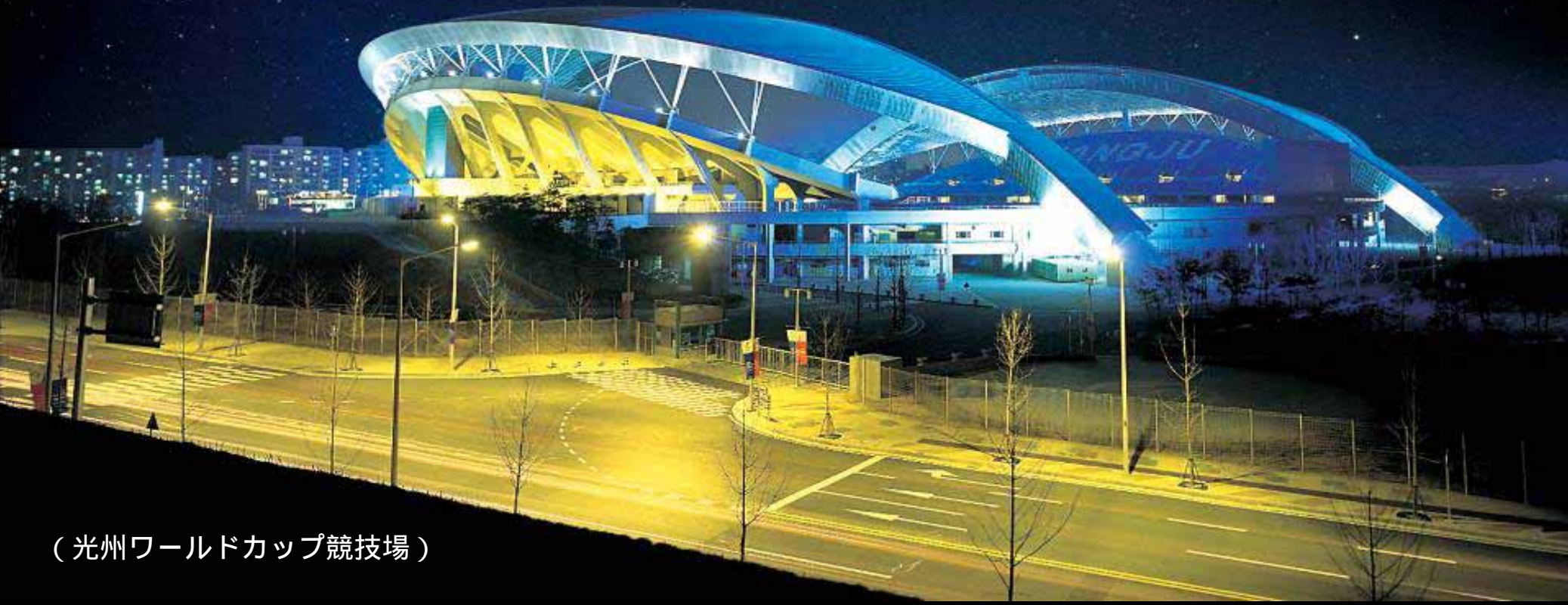
世界キムチ文化祭り (毎年10月)

伝統キムチを素材に開催されるお祭り。展示館では旬のキムチや八道キムチなど、さまざまなキムチを満喫できます。キムチの味を思う存分楽しめるイベントとして、観光客にも人気です。



【国際姉妹都市提携動機】

光州広域市長から書簡にて姉妹都市提携の打診を受け交流が始まりました。2000年に友好促進協定を締結し、2002 F I F Aワールドカップ開催へ向けた日韓関係への関心の高まりを受け、2002年4月20日に国際姉妹都市となりました。



(光州ワールドカップ競技場)



2002年4月 仙台市・光州広域市国際姉妹都市提携調印式（仙台）

10年以上の市民交流の積み重ねを受け、2002年4月20日、藤井黎仙台市長（当時）と高在維光州広域市長（当時）が仙台市・光州広域市国際姉妹都市提携協定書に調印し、友好関係・交流をより一層深めていくことを宣言しました。



文化交流（仙台・光州）

姉妹都市提携前から、茶道や華道の市民団体による交流が行われてきました。2003年には光州の団体が仙台を訪問し、「光州・仙台姉妹都市提携一周年記念合同芸術祭」を開催しました。その後も継続的な文化交流が行われています。



障害者交流（仙台・光州）

仙台と光州の障害者団体は、姉妹都市提携以前から、様々な分野で継続した交流を行っています。2003年には仙台の団体が光州を、2008年には光州の団体が仙台を、それぞれ訪問し、スポーツ交流を行いました。





2011年3月 光州広域市からの支援物資送付（仙台）

東日本大震災発生後すぐに光州広域市よりお見舞いと支援の申し出をいただきました。支援物資は、3月17日と20日の2回に分けて仙台へ届けられました。

